

【3回連続特別講座】※1回でも受講いただけます。

安徳天皇は生きていた

～安徳天皇伝承「古文書が語る平家物語の真相」～

◆日時：10月14日（金） / 11月11日（金） 13：30～15：00

◆場所：地域共生拠点・あすパーク 灘区中郷町5-1 大和公園南側内

◆参加費：500円（飲み物付き）定員：10名

講師：能勢初枝 郷土史研究家 著書「ある遺書 ～能勢町に伝わる安徳天皇伝承～」他

主催：認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸 / あすパーク

お問合せ：078-200-5293（あすパーク事務所）日・月休み aspark@cskobe.com

江戸末期の文化14年、摂津能勢（現大阪府豊能郡能勢町）の民家の屋根裏から発見された古文書は、平安の貴族藤原経房が息子にあてた遺書だった。そこには壇ノ浦から安徳天皇を守って山里能勢まで逃れて来たこと、そして天皇はこの地で亡くなられたことが書いてあった。

発見当初から遺書の真贋の議論は盛んだったが、結論は出ないまま今日に至っている。

いま遺書の内容に新たな光を当ててみると、驚くべき事実が見えて来た。「平家物語」などと照らし合わせて、遺書の真実を語る。

→1回目『遺書（古文書）発見時の状況・安徳天皇入水の真実』

~~9月9日（金） 13：30～15：00~~ **終了しました。**

→2回目『安徳天皇を奉じて能勢まで逃れてきた詳細及び登場人物』

10月14日（金） 13：30～15：00

→3回目『遺書が天井裏に隠されていた理由 明智光秀に加担していた能勢一族』

11月11日（金） 13：30～15：00

